

平成29年度第1回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 平成29年6月1日（木） 14時～16時
- ・出席者 運営委員…………… 14名出席（欠席委員：1名）
 ウイズセンター…………… 所長、次長、職員
 男女共同参画青少年課… 総括参事

議事	概要
1 開会 2 委員の紹介 3 委員長及び副委員長の選出 4 議事 (1) ウイズセンターの概要及び平成29年度事業の概要について [質疑等] 委員 ウイズセンター 委員 ウイズセンター	ウイズセンター説明 ・平成29年度事業、新年度事業ならではの特色、今年度はここに力を入れているというところがあるか。 ・「男女共同参画ゼミナール」については、防災、男性の介護、働き方改革など幅広い内容になっている。「ウイズカレッジ」については、7月20日に、上智大学の三浦まり先生にお越しいただき、「今求められる女性の政治参画～女性議員比率164位からのスタート～」というテーマでご講演をいただく予定である。この講演会は夕方時間帯に開催する予定である。また、津山で2回開催予定である。そして、10月14日に、「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の赤石千衣子さんをお招きして、「ひとり親家庭への支援」ということで、講演会と交流会を計画している。 ・男女共同参画ゼミナールの修了者について、今までは、市町村の職員で新しく男女共同参画を担当した者が多いように思うが、ゼミナールの修了者が市町村でどのようにリーダー的役割を果たしているか。また、どういった人が申し込み、修了しているのか。 ・この事業は、審議会や委員会などで活躍する人材や地域リーダーの養成を目的としているが、ご指摘のとおり、市町村で新しく担当になった人が多く参加している。地域における活用については、2年後に公務員以外の修了者に対してアンケートを実施している。昨年度は平成26年度の修了者9名にアンケートを実施し、女性の再就職支援を行うNPOで活躍していたり、女性活躍推進協議会の委員や、男女共同参画推進委員をしている、との回答があった。昨年度の男女共同参画ゼミナールでは、

議事	概要
委員	<p>過去の男女共同参画ゼミナールの修了生にも案内をし、そのうちの9名の方に受講いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの事業も予算が少しずつ前年度よりも少なくなっているが、平成29年度に実施計画している事業の数は減っていないように思う。どのようにやりくりしているのか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼の交渉や、チラシにかかる費用を工夫するなど、そういった小さな努力を積み重ねている。また団体の方と協働していくことで、意義深い企画を立てていただいている状況である。「映画のつどい」では、きらめきプラザ内の団体の方などに協力してもらい、上映後、作品に関連したテーマで講話をしてもらったりした。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターは来年で20年目になるかと思う。節目を使い広く県民へのアピールしていけるチャンスでもあるので、ぜひ来年度の予算も工夫して行ってほしい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・20周年については、何かかたちになるものを残したいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターの関連の総額予算はどのくらいになって、対前年度比では減っているのか。また、男女共同参画推進月間事業について、できれば記念講演にウエイトを置かず、団体の活性化につながる登録団体活動支援事業に力を入れてほしい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターの予算について、運営費が約1,660万円、事業費が約768万円となっている。男女共同参画推進月間事業の登録団体活動支援事業について、予算の出来る範囲にはなるが、ウィズセンター登録団体の方たちのご協力をいただきながら、盛り上げていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画ゼミナールについて、7月から8月の間で開催している理由は何か。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・7月から8月に開催しているのは、岡山市のさんかくウィークがある6月と、岡山県の男女共同参画推進月間が11月であることを考慮して、その間の期間である7月から8月が参加してもらいやすいのではないかとということで設定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し分散してもらえると遠方の者も参加しやすいと思うので配慮いただきたい。月に1回ぐらいのほうが参加しやすいと思う。できれば働いている人に勉強していただけるようなチャンスがほしいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターで行っているイベント等に手話通訳等をつけてはどうか。手話通訳者の派遣は無料ではないので、予算の都合などもあるかと思うが、できれば予算を付けてイベント等に手話通訳をつけ、聴覚障害を持つ方も参加できるようにしていただきたい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の申込時に手話通訳等が必要であると分かれば、できる限り配慮していきたいと思う。予算の都合なども含め、今後検討したいと思う。

議事	概要
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者の出会いの場とネットワーク作りについて、昨年度はグループワークを4回実施しているが、どのくらいの人が参加しているか。 ・1回につき多くても5、6名程度である。参加者とは別にカウンセラーと相談員がいる。このグループワークの参加者はDV被害者限定ではないが、被害者の方が参加する場合、ある程度落ち着いていて、人前で少し話してみようという方になる。そのため、このグループワークを紹介できる方というのはそんなに多くはない。参加者は少ないが、カウンセラーなどと話をする中で心を開いていける部分もあるので、大事な事業だと思っている。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員が相談を聞く中で、紹介をしているということか。 ・そのとおりである。相談の中で、紹介・案内をしていくようなかたちになっている。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に向けての広報などはしていないということだろうが、いろいろな相談を受ける中で、このグループワークに参加した方がよさそうという方に、紹介をすることは可能か。 ・可能であるかと思うが、回復していくどの時点で紹介・案内をするかという問題もある。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がグループワークに安心して参加するためには、継続的な支援を行っている相談員やカウンセラーなどがコーディネートしないといけないと思う。継続的な支援を行う中で、回復の度合いを上げていき、グループワークに参加した際も、しっかりと見守りが必要である。当事者が安心してグループワークに参加することで、そこで力をもらい、明日から頑張ろうと思ってもらえるようにする。グループワークにはそのような大事な役割があるが、開催するには注意が必要である。 ・当事者の継続的な支援を行うための情報共有を行う中で信頼関係ができていき、紹介・案内もしやすくなるのではないかと思う。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンについて、相談員の育成ということだが、公的な相談機関の相談員に行き詰まりのようなものを感じる。いろいろな相談機関の相談員同士で交流できる場を設け、様々な情報共有を行い、他の相談員も頑張っているという共通認識を持つことで、この行き詰まりを解消できるのではないかと思う。 ・相談機関同士のネットワークも大事であるため、検討していきたい。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ストップ・DV事業のデートDV防止講演会について、平成28年度は13校、平成29年度は14校での実施ということだが、平成29年度は新しい学校からの依頼はあるか。また平成28年度の実施分について、こういった感想であったか、アンケートはとったのか教えてほしい。 ・平成29年度実施分について、まだ年度の途中なので増加するかもしれない

議事	概要
委員	<p>い。昨年度から引き続き実施する学校もあるし、昨年度は実施していないが今年度実施する学校もある。アンケートについて、実施した学校には、実績報告とともに感想等をもたらしている。講師が一生懸命語る話が、高校生たちの身にしっかり入っていると感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デートDV防止講演会で現場での事例を話すと、子どもたちの目が全然違ってきて、ものすごい熱いものを感じている。この事業の意義を感じている。また先生の対応も変わってきていると思う。DV環境の中では、理解をしてあげる、周りにいる者、そして見守る者がいるということがDVなどの当事者支援のスタートという話をしている。その話を聞いた先生から「相談を受けて今まで自分は何もできなかったが、そうなんだと、分かってあげるだけでいいのだ」というような感想もいただいている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関して、男女共同参画に関する人権というのは幅広い分野があるが、全国的なセンターの関連事業を見ると、DVにだんだん偏ってきているように感じられる。DVだけではなく、ジェンダーに関することなど、いろいろな男女共同参画に関する人権の問題が出てきているが、県の施策としてはどういう方向性なのか教えてほしい。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、人権というのは幅広い。ウィズセンターは、配偶者暴力支援センターの機能を持っていることから、DVの話になることが多い。 ・「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の「生きがい・元気づくり支援プログラム」に、「男女が共に輝くおかやまづくりの推進」と「人権尊重の社会づくりの推進」の施策があり、「男女が共に輝くおかやまづくり」では、特にDVに限定することなく「男女間の暴力の根絶」という記載で、人権問題に取り組んでいくこととしている。また「人権尊重の社会づくりの推進」では、県庁全体で複雑化・多様化していく人権問題を解決するための施策を推進していくこととしている。LGBTを含め人権施策の総合調整を行う人権施策推進課がある。また、教育委員会には人権教育課もあり、「人権教育推進マトリックス」も設置され、義務教育から高等教育まで連携しながら人権教育を推進している。 ・ウィズセンターでも、DVだけではなく、男女共同参画に関する人権をテーマとした講座などを開催している。
5 閉会	<p style="text-align: right;">以 上</p>